

VITARA

新型「e ビターラ」

広 報 資 料

P R E S S I N F O R M A T I O N



新型「e ビターラ」は、「エモーショナル・バーサタイル・クルーザー」を商品コンセプトに全社一丸となって開発した、スズキのバッテリー EV世界戦略車第一弾となります。

主な商品特長は、以下の4点です。

- ①近代的なEVの先進感とSUVの力強さを併せ持つデザイン
- ②高効率なeAxleとリン酸鉄リチウムイオンバッテリーで構成するEVパワートレイン
- ③前後に独立した2つのeAxleを配置した電動4WDモーターで駆動する「ALLGRIP-e」
- ④EV専用に新しく開発したプラットフォーム「HEARTECT-e」

特に動力性能においては、「走る・曲がる・止まる」というクルマの基本性能を高い次元で実現するだけでなく、EVならではのキビキビとした発進加速、低速から高速までのシャープな追い越し加速などが味わえます。スズキ初のバッテリー EVとなる新型「e ビターラ」が、世界中のお客様に満足していただけると確信しています。



BEVソリューション本部
BEV B・C商品統括部長
兼 チーフエンジニア
小野 純生

■ はじめに ～開発者の想い～	1
■ 目次	2
■ 商品コンセプト／商品特長／ラインアップ	3
■ エクステリア／インテリア	4
■ EVパワートレイン	6
■ 電動4WD「ALLGRIP-e」	7
■ EV専用プラットフォーム「HEARTECT-e」	8
■ インテグレートッドディスプレイシステム	9
■ ナビゲーション／スズキコネクト	10
■ 収納スペース／シートアレンジ	11
■ 快適装備	12
■ 安全技術	13
■ アクセサリー紹介	14

商品
コンセプト

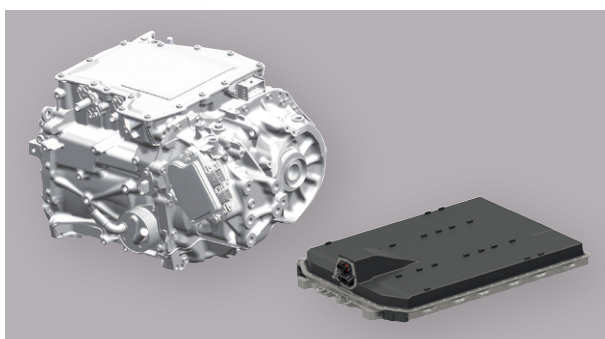
エモーショナル・バーサタイル・クルーザー

近代的なEVの先進感とSUVの力強さを併せ持つデザイン



主な
商品特長

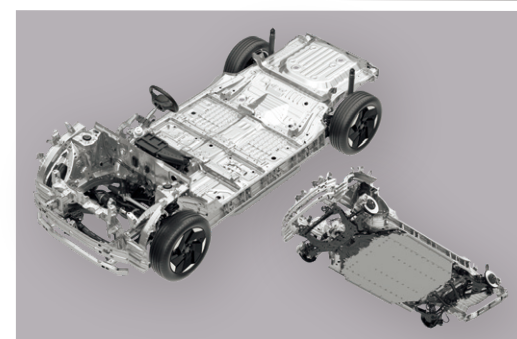
高効率なeAxleとリン酸鉄リチウムイオンバッテリーで構成するEVパワートレイン



前後に独立した2つのeAxleを配置した電動4WDモーターで駆動する「ALLGRIP-e」



EV専用に新しく開発したプラットフォーム「HEARTECT-e」



ライン
アップ

Z 2WD

総電力量
61 kWh
一充電走行距離
WLTCモード
(国土交通省審査値)
520 km



オビュレントレッドパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E86)

Z 4WD

総電力量
61 kWh
一充電走行距離
WLTCモード
(国土交通省審査値)
472 km



ランドブリーズグリーンパールメタリック ブラック2トーンルーフ (FDC)

X 2WD

総電力量
49 kWh
一充電走行距離
WLTCモード
(国土交通省審査値)
433 km



スプレンドリッドシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E85)

*一充電走行距離は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて値は大きく異なります。

デザインテーマ ハイテク&アドベンチャー [EVの先進感とSUVの力強さをデザイン]



フロントビュー

押し出し感の強いフロントマスクと力強いアンダーガードで、SUVらしさを表現。LEDデイトタイムランニングランプは3ポイントが特徴的なシグネチャーランプを採用し、先進感を表現しています。

サイドビュー

EVならではのロングホイールベース、四隅に踏ん張った大径タイヤ、SUVらしいアップライトなフロントガラス、そして空力性能を考慮したクーペライクなシルエットを特徴としています。サイドスプラッシュガードによって車体をリフトアップさせた印象を出しアウトドア感、走破性を表現しています。リアドアにはスタイリッシュな意匠と操作性を両立した縦型ドアハンドルを採用しています。

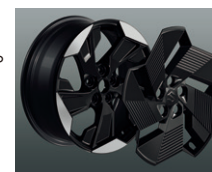
リアビュー

腰高なフォルムで力強さを出しつつ、フロントと合わせた3ポイントのLEDリアコンビネーションランプで印象に残る存在感を狙いました。



■18インチガーニッシュ付アルミホイール

空力と軽量化を両立させた樹脂製のガーニッシュ付アルミホイールを採用。アルミだけでは表現できない細かい造形が可能になり、細部の作りこみ、質感向上に貢献しています。



BODY COLOR



デザインコンセプトは「ハイテク&アドベンチャー」です。先進感とEVらしさ、そこにスズキのアイデンティティである力強い4WDのイメージを融合させ、緻密で力強い造形を高次元で表現しました。シンプルさの奥に秘めた繊細な美しさと大胆なボディー造形へのこだわりは細部へ宿り、質感の高さを感じて頂けると幸いです。スズキのSUVを象徴する「3点シグネチャー」は、より立体的で記憶に残る形状に進化。そして、四隅に踏ん張るタイヤと力強いフェンダーは、乗り手の冒険心を掻き立てるスズキらしい独創的なデザインを実現させることができました。



商品企画本部
四輪デザイン部
エクステリア課
佐藤 仁俊



■インパネ周り

インパネにはブラウンのソフトパッドを採用。エアコンルーバーの周囲にはダークシルバーガーニッシュ、ルーバーにはピアノブラック調の加飾を施し、タフでありながら洗練されたイメージを演出しています。



■フロントセンターアームレスト

質感と機能性を両立したブラウンのレザー調フロントセンターアームレストを採用しました。



■センターコンソール周り

パネル全面にピアノブラック調の加飾を施しています。ミドルトレイの底面には3Dテクスチャーを採用しました。



■ガラスルーフ

サンシェード付のガラスルーフをZグレードに採用しました。



■ドア周り

ドアトリムにはブラウンソフトパッドやダークシルバーガーニッシュ、3Dテクスチャーを採用。ドアアームレストはシート表皮とコンビネーションさせることで、室内の統一感を高めています。



■LEDアンビエントライト[12色]

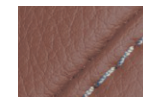
12色の調色機能と7段階の調光機能を備えています。

■3種のシート表皮を採用

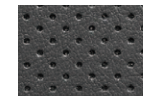
シート表皮は柄ではなく、3種の表皮を組み合わせることで、洗練かつタフな印象を表現。ホールド性に優れたSUVらしいシートに仕上がっています。



メイン材
[メランジ表皮]

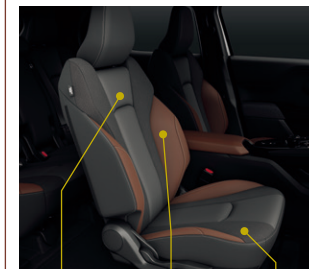


ボルスター材
[ブラウン合皮]



アクセント材
[パーフォレーション合皮]

Xグレード



メイン材
[緻密な繊維]



ボルスター材
[ブラウン表皮]



アクセント材
[メランジ表皮]

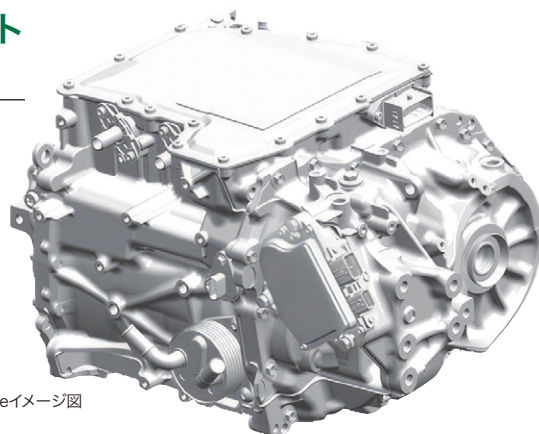
「ハイク&アドベンチャー」をデザイン共通のテーマとしながら、インテリアは「抜・透・浮」という言葉でデザイントレンドを解釈し、開発に臨みました。「抜」は造形として実際に抜けており、「透」は透明素材の採用や、あえて隙間を設けることで軽さを演出しました。そして「浮」は照明を上手く使いながら、軽さを表現しています。また、特長の一つとしてセンターコンソールを二階建てにすることで新しさと力強さを表現しながら、しっかりユーティリティも実現させています。e ビターラは、インテリアのほとんどの部品を新しく作成し、ドアを開けた瞬間、今までにない先進感と冒険心を掻き立てるワクワクする車内空間を感じていただけたと思います。



四輪企画本部
四輪デザイン部
インテリア課
林田 崇

機電一体型ドライブユニット 「eAxle」を採用

EVらしい発進時のキビキビとした加速、低速から高速までの追い越し時のシャープな加速に磨きをかけました。4WDは「eAxle」を前後に配置し、よりパワフルな走りを味わえます。



*eAxleイメージ図

		Z 2WD	Z 4WD	X
最高出力 (kW)	合計	128	135	106
	フロント	128	128	106
	リヤ	—	48	—
最大トルク (N・m)	合計	193	307	193
	フロント	193	193	193
	リヤ	—	114	—

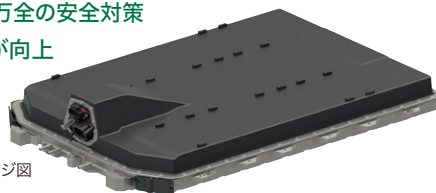
*社内測定値

安心・安全なリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを採用

安全性が高く、バッテリー寿命も長いリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを採用。

e ビターラはより安全性を高めるため、様々な対策を施しています。

- バッテリーの電圧を複数方法で監視→常にバッテリー状態を管理
- 衝突時の保護性能確保に寄与するバック構造の採用→万全の安全対策
- 冷却液による水冷式の採用→長寿命化と入出力性能が向上



*リン酸鉄リチウムイオンバッテリーイメージ図

いかなるシチュエーションでも楽しく運転、安全にドライブ

- ニーズに合わせた走行を可能にする3種類のドライブモード

NORMAL

走りと電費のバランスに優れたモード

ECO

アクセルペダルを踏んだ際に緩やかに加速。エアコンの消費電力を抑えることで、航続距離を伸ばすモード

SPORT

アクセルペダルを踏んだ際に素早く反応。機敏でパワフルなドライビングを楽しめるモード

- 雪道などの滑りやすい路面でも安定して走れる

スノーモード **Z 2WD X**

緩やかにトルクを発生させることで、雪道でのスリップを抑制します。

*イーजीドライブペダルONの時、スノーモードは選択できません。

- 軽快なシフトフィーリングの電子制御シフト[ダイヤル式]を搭載

シフト部と「eAxle」を電氣的に接続するシフトバイワイヤー技術により、回転操作やスイッチ操作でシフトチェンジが可能です。

- アクセルペダルの操作のみで加減速できるイーजीドライブペダル

アクセルペダルの操作のみで加減速をコントロール。アクセルペダルを完全に離さずゆっくり緩めることで、なめらかに減速できます。イーजीドライブペダルは減速度を3段階に切り替え可能で、OFFにすることもできます。



*2WD車

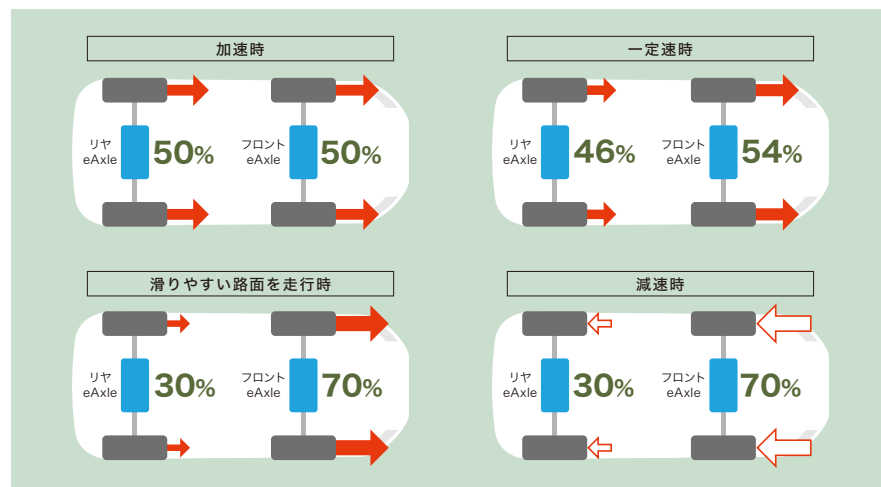
運転の楽しさと安心感を高める「ALLGRIP-e」 Z 4WD

「ALLGRIP-e」は、前後に独立した2つのeAxleを配置した電動4WDです。オートとトレイルのモードをセレクトでき、様々なシチュエーションにおいて前後駆動力配分を独立制御することで、車両姿勢や挙動を緻密にコントロールできます。

ALLGRIP-e

■オートモード

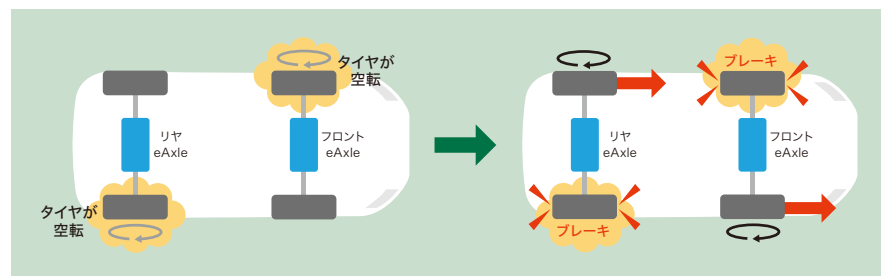
通常の路面の加速時には、前輪と後輪に約50:50にトルクを配分。道路状況や走行状態に応じて前輪と後輪のトルク配分を自動制御します。



■トレイルモード

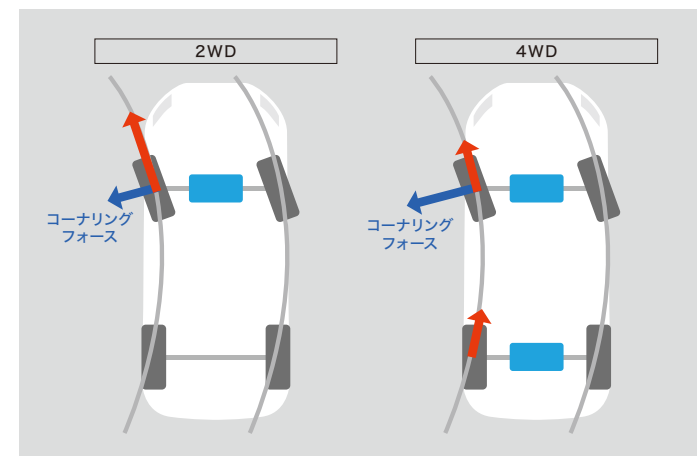
タイヤが浮くような状況では、空転しているタイヤにブレーキをかけ、反対側のタイヤに駆動トルクを配分(LSD機能)することで、悪路からスムーズに脱出できます。

*イーゼードライブペダルONの時、トレイルモードは選択できません。



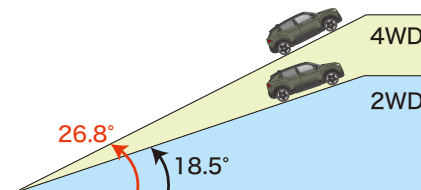
高い旋回性能・ハンドリング安定性

リヤタイヤの駆動力が使えるため、フロントタイヤが持つ性能をコーナリングフォースに振ることができるので、旋回時の安定性が高まります。



高い登坂性能

上り坂の途中で一旦停止し発進できる傾斜角度が、2WDに対して約1.4倍です。



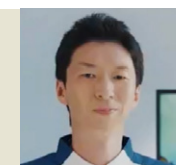
*社内測定値

4WDは前後のeAxle(モーター)の力でよりパワフルな走りを実現

		X 2WD	Z 2WD	Z 4WD
発進加速	0-40km/h	2.6秒	2.7秒	1.9秒
	0-100km/h	9.6秒	8.7秒	7.4秒
追越し加速	30-70km/h	3.4秒	3.2秒	2.6秒
	60-100km/h	5.3秒	4.5秒	4.2秒
	80-120km/h	7.3秒	6.0秒	5.5秒

*社内測定値

「ALLGRIP-e」は前後に独立したモーターを配置した電動4WDです。それぞれのモーターを緻密に制御することで前後トルクの配分をコントロールするシステムです。前後独立してコントロールすることで、路面の状況に適した前後トルクを配分し、様々なシチュエーションでも安心感のある走行ができるように設計しました。さらに、「トレイルモード」は前後の対角輪が空転してしまうような悪路でも、ブレーキLSDトラクションコントロールの働きにより、接地しているタイヤ側に最大限のトルクを配分させることができます。脱出が難しい対角輪が空転するような場面でも、脱出を力強くサポートします。



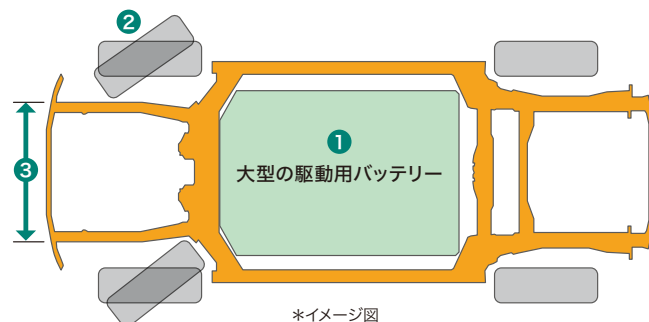
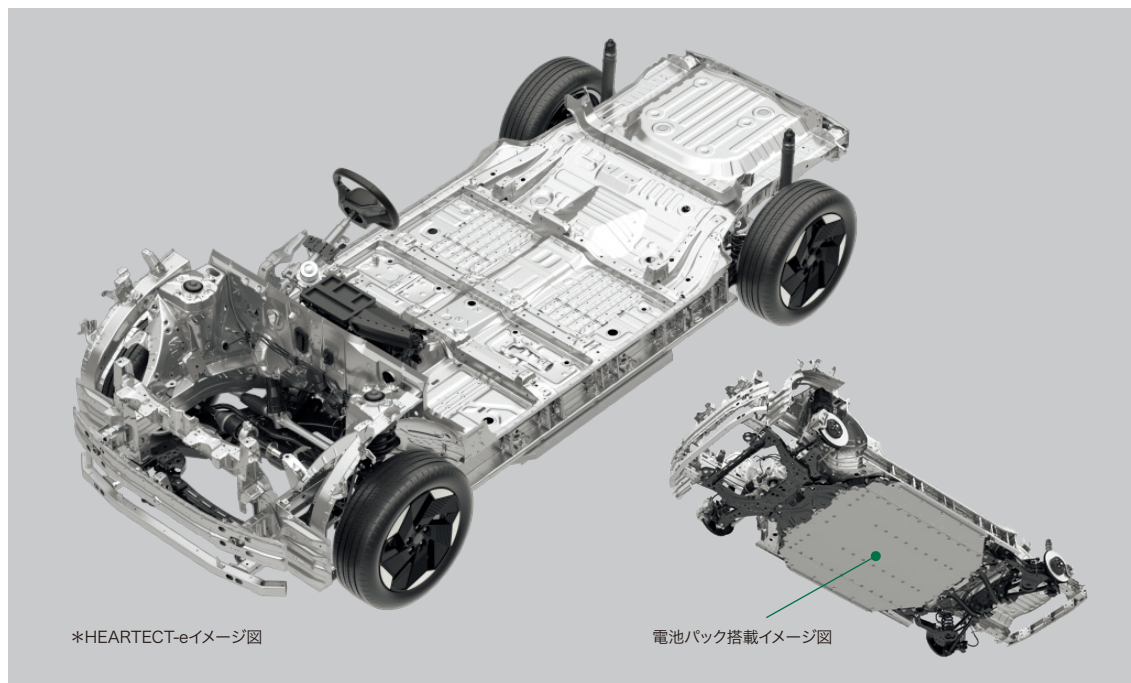
四輪車両運動性能評価・制御設計部
ブレーキ制御設計課
岸 達彦

「HEARTECT-e」では大型の駆動用バッテリーの搭載が可能

「HEARTECT-e」を開発することで大型の駆動用バッテリーの搭載が可能になり、EVとして必要十分な航続距離を確保しています。さらにロングホイールベースにより直進安定性の向上、大径タイヤによりSUVらしい存在感も放っています。なお、18インチの大径タイヤを装着しながら、取り回しの良さも確保しています。

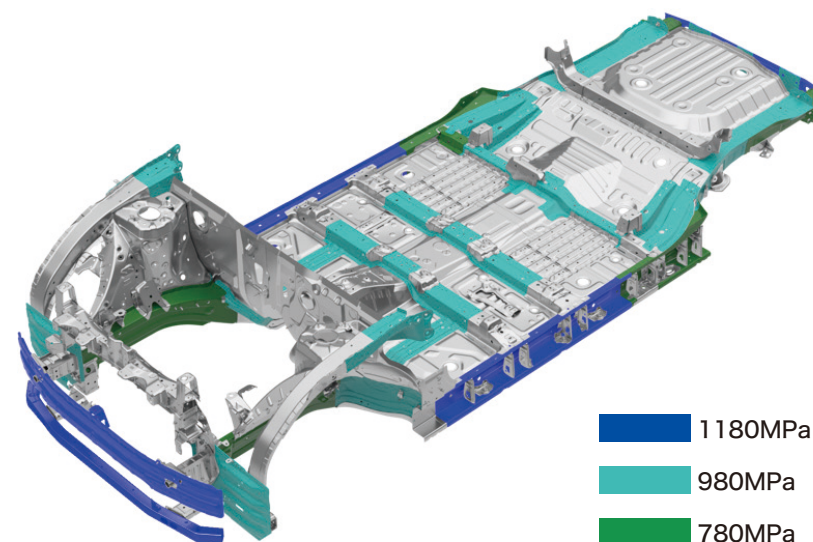


■新開発されたEV専用プラットフォーム



■軽量化技術を駆使し、軽くて丈夫な骨格を実現

駆動用バッテリーの重量を支えつつ、優れた操縦安定性を確保するためにボディー剛性を強化。「HEARTECT-e」は、高ハイテン材の使用率を従来の約2倍にアップ。アッパーボディーも高ハイテン材の使用率を高めています。高ハイテン材は高い強度を保ったまま部材を薄くできるため、軽量化に大きく貢献しています。



■優れた最小回転半径を実現

ロングホイールベース化、タイヤの大径化にもかかわらず、タイヤの切れ角を大きくすることで最小回転半径5.2mを実現しています。

■最小回転半径

5.2m





センターディスプレイ(10.1インチ)

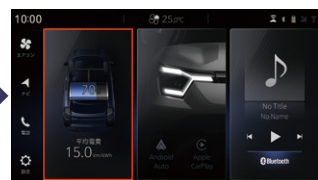
「複数の機能がありながら1タップで様々な画面に遷移できる操作性」と「表示エリアを広く使用した商品性」を両立。お客様にあった表示にカスタマイズすることも可能です。

■ タブからタイルへの入れ替え

■ タイル同士の入れ替え



タブを長押ししてタイルへ



タイルを長押ししてタイルへ

■ センターディスプレイは3種類のレイアウトから選択可能です。



3画面



2画面(1:2)



2画面(2:1)

*nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニックホールディングス株式会社の商標です。 *Android AutoはGoogle LLCの商標です。 *Apple CarPlayは、Apple Inc.の商標です。 *Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 *InfinityはHarman International Industries, Inc.の登録商標です。

メーターディスプレイ(10.25インチ)

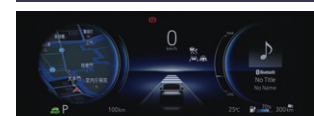
走行に関する情報や警告を表示する固定領域、お客様の好みでカスタマイズできる切替領域で構成しました。

固定領域に表示される主な情報

- デジタル車速
- シフトインジケーター
- ドライブモード
- 外気温計
- オドメーター/トリップメーター
- 駆動用バッテリー残量計
- 航続可能距離 など

■ メーターディスプレイには3種類のデザインフレームを用意しました。

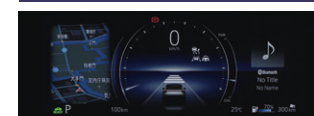
Standard



Wide



Classic



選択したコンテンツ1つを大きく表示します。車速がアナログ風の表示になります。

スズキ初のデジタルコックピットは、先進感の演出だけでなく、使いやすさにもこだわって設計しました。

例えば、アイコンやイラストを用いて設定箇所が直感的にわかるよう配慮しており、画面が煩雑にならないように文字フォントの選定や画面内のパーツ配置・間隔を細部まで調整しています。

また、画面内のコンテンツ配置はお客様の好みに合わせて変更可能としました。機能面では、航続可能距離に基づくナビ案内や充電器の空き状況など、EVならではのコンテンツに対応しています。

さらに、マルチメディアとしてApple CarPlayやAndroid Auto™はもちろん、大画面を活かしたデジタルテレビやHDMI映像入力にも対応しているため、快適なEVライフをサポートするツールとしてご活用いただけたと考えています。



四輪電子システム開発部
コネクテッド・
マルチメディア開発課
三浦 晋

メモリーナビゲーションに、航続可能範囲表示や充電施設経由地設定などのEVサポート機能を追加しました。さらにスズキコネクトに加入すると、センター通信型のハイブリッドナビゲーションシステムが利用でき、最新の地図データによるルート検索、駐車場やEV充電施設の満空情報、各種施設の情報などがリアルタイムに更新されます。

メモリーナビゲーション EVサポート機能

駆動用バッテリーの充電残量や航続距離が心配なEVだからこそ、従来のナビゲーションに加えて、万が一の電欠を未然に防ぐEVサポート機能を追加しました。

■航続可能範囲表示

車両の航続可能距離をもとに、一目でわかりやすく地図上に航続可能範囲を表示します。

■充電施設経由地設定

車両の航続可能距離より遠い目的地を設定した場合、充電施設の経由地設定を推奨します。

■充電施設表示

駆動用バッテリーの残量が低下した場合、周辺の充電施設を検索し、地図上に表示します。

ハイブリッドナビゲーションシステム

スズキコネクトに加入することで、サーバーから最新の地図情報や交通情報、駐車場やEV充電施設の満空情報などを取得して表示する利便性の高いナビゲーションシステムです。

■駐車場の満空情報

駐車場の満空情報をリアルタイムに受信して表示(特定駐車場のみ)。



■EV充電施設の満空情報

EV充電施設の満空情報をリアルタイムに表示(特定施設のみのみ)。



■目的地施設の付帯情報

住所、電話番号に加えて営業時間などの詳細情報を表示。



おでかけプラン

スズキコネクトアプリで事前に登録した目的地情報をナビに送信。クルマを降りた後でも目的地までの徒歩ルートをシームレスに案内してくれるので、快適なおでかけをサポートします。

壁紙カスタム

スズキコネクトアプリからアップロードした画像を、センターやメーターのディスプレイに表示します。お気に入りの画像をクルマでも楽しめます。

SUZUKI
connect

EVのある暮らしをもっと「安心」、「快適・便利」にするため、3年間無料のスズキコネクトにEVライフをサポートする機能を新たに搭載しました。既存機能のオペレーターサービスやリモート操作機能などとともに、より充実したサービスを実現しています。

追加機能

EVライフをサポートする機能

モニタリング機能



駆動用バッテリー情報表示

バッテリー残量や充電・給電のステータス、充電ケーブルの接続状態、充電完了予測時間、航続可能距離などを表示

通知機能



充電状態通知

充電完了時、または充電が異常停止した際や、タイマー充電時の開始・完了時などに通知

エアコン状態通知

タイマーエアコンの開始や、バッテリーウォーマーの使用推奨を通知

リモート操作機能



タイマー充電

あらかじめ設定した時刻に充電を開始・終了させるための予約を行なうことが可能

リモートエアコン

リモートエアコンの機能向上に加え、シートヒーター操作、ステアリングヒーター操作、タイマーエアコン、バッテリーウォーマーを追加

モニタリング機能 ホーム画面

「お知らせ」アイコンもしくは「お知らせ」一覧にて充電状態通知などを確認できます。

航続可能距離やバッテリー残量、平均電費をホーム画面で確認できます。

このボタンを選択すると、詳細なバッテリー情報が確認できます。

モニタリング機能 駆動用バッテリー情報表示

バッテリー状態
充電中のバッテリー残量や充電・給電のステータス(普通充電、急速充電、タイマー充電待機中、外部給電中、V2H中)が確認できます。

充電情報
充電コネクタの接続状態や充電完了までの予測時間、現在のバッテリー残量での航続可能距離が確認できます。

タイマー充電設定
充電開始時刻の予約などができます。

スズキコネクトは
初度検査・登録年月から **3年間無料** ※ 無料期間終了後もサービスをご利用になる場合は、スズキコネクト契約車両1台ごとに、別途お手続きが必要となります。

※初度検査・登録年月の翌月1日を起算日とし、36ヵ月後の月末まで無料となります。例：初度検査・登録年月が2025年9月の場合、無料期間は2028年9月末まで。



前席と後席に設けられた数々の収納スペース、6:4分割リヤシートスライド機構を採用し、シートアレンジにもこだわった後席により、生み出されるラゲッジスペースが快適なドライブをサポートします。

前席



グローブボックス[ダンパー、LED照明付]



センターコンソールカップホルダー(フロント2個)



センターコンソールミドルトレイ



センターアームレストボックス



フロントドアポケット[ペットボトルホルダー付]
(両側)

後席

6:4分割リヤシートスライド&リクライニング機構を採用したことで、後席空間や荷室をお好みに合わせてアレンジできます。シートスライドは160mm(16mm×10段)、リクライニングは20度(2度×10段)。いずれも左右独立で調整可能で、リヤセンターアームレストを装備しています。また、センターコンソール後端の形状を最適化し、後席シート間の移動もスムーズに行なえます。



センターコンソールリヤポケット

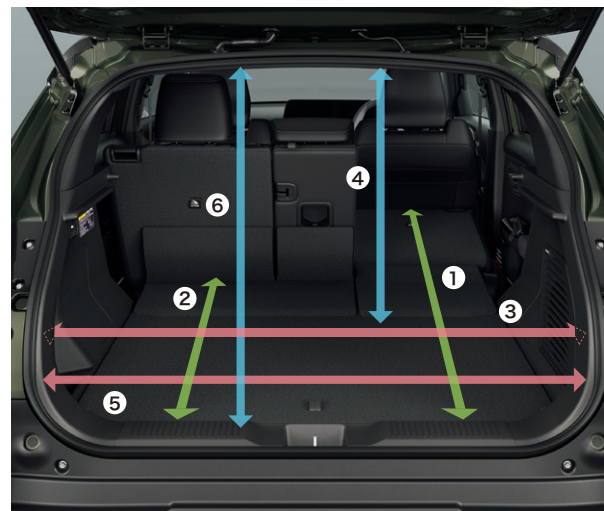


リヤドアペットボトルホルダー(両側)



リヤセンターアームレスト
ドリンクホルダー(2個)

荷室 荷物に応じてアレンジ可能なラゲッジスペース



後席のシートスライドを最前列にした状態で306L、最後列にした状態では238Lの容量を確保。後席に4:2:4分割シートを採用することで、長尺物をセンターに搭載した状態でも後席に乗車できます。また、バックドアシルの高さを低く抑え、荷物の積み下ろしも容易にしました。

荷室容量(5名乗車時)	306~238L
① 荷室長(2名乗車時:最大)	1,455mm
② 荷室長(5名乗車時)	675~835mm
③ 荷室幅	1,165mm
④ 荷室高(5名乗車時:最大)	660mm
⑤ 荷室開口幅(最大)	1,020mm
⑥ 荷室開口高	670mm
荷室開口地上高	795mm

*社内測定値。

*荷室容量はVDA(ドイツ自動車工業会)の定めたトランク容量測定値。



20Lのキャリーケースを5つ積載可能



後席を倒すとキャンプ道具も積載可能



ショッピングフック
(ラゲッジ右側)
耐荷重1kg



ラゲッジサイドポケット
Xは右側にも装備



後席の片側を倒してゴルフバックを積載可能



センターを倒すとセンターコンソールから電源の取り出しが容易



ラゲッジシェルフ
ラゲッジボード



ラゲッジアンダーボックス
充電ケーブルが収納可能

お好みのドライビングポジションに合わせやすい運転席10WAYパワーシート、良質なサウンドが楽しめる8スピーカーのプレミアムサウンドシステム「Infinity(インフィニティ)」、充実の電源ソケット&コンセントなどの快適装備を搭載。また、シートヒーター[3段階温度調節機能付]やステアリングヒーターなど、冬に活躍する機能・装備も満載です。

■運転席10WAYパワーシート Z

[前後スライド、リクライニング、シートリフター、座面前端チルト、ランバーサポート]

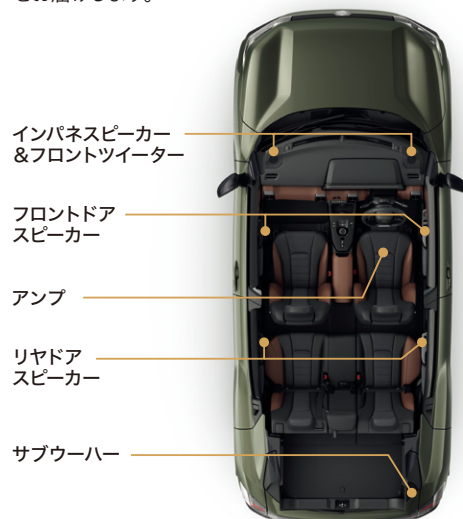


■プレミアムサウンドシステム

「Infinity(インフィニティ)」Z

[8スピーカー(インパネ2、フロントツイーター 2、フロントドア2、リヤドア2)、サブウーハー、アンプ]

e ビターラの室内音響特性に合わせて最適配置された高性能スピーカーと、専用設計されたアンプによって、プレミアムサウンドを作り出します。パワフルなデジタルプロセッサーを駆使した音作りにより、あらゆる音楽が持つ本来の魅力を余すことなく表現。繊細で緻密な再現力とダイナミックな躍動感は、音楽に触れる新たな楽しみをお届けします。



*InfinityはHarman International Industries, inc.の登録商標です。



自動防眩ルームミラー



ワイヤレス充電器(フロント)



アクセサリソケット
HDMIソケット
オーディオ用USBソケット
[Type-A(フロント)]
USB電源ソケット
[Type-C(フロント)]

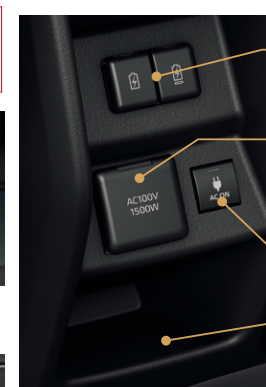
植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両室ペースキングパルスジェネレーターおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を装着されている方は、ワイヤレス充電器のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。ワイヤレス充電器の動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



LED残照式3ポジション
ルームランプ(フロント)



LED残照式3ポジション
リーディングランプ(後席両側)



USB電源ソケット
[Type-A(リヤ)]
[Type-C(リヤ)]
AC電源コンセント
[100V、1500W]
[非常時給電モード付]
AC電源コンセント
ON/OFFスイッチ
センター
コンソール
リヤポケット



LEDフットウェルランプ
(運転席、助手席)
LEDアンビエントライト[12色]



LEDラゲッジルームランプ
(左側)



ナノイーX Z
nanoE-X

*"Qi"および"Qi"マークはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。"Qi"マークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)によるワイヤレス給電規格に適合しています。*充電エリアに置くことができても端末の種類、置き方によっては充電できないスマートフォンケースがあります。*充電可能エリアに収まらないQi対応機器の充電は行えません。*nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。

■冬に活躍する機能・装備

シートヒーターやステアリングヒーターをはじめとした、冬でも快適に過ごせる機能・装備が満載です。

■シートヒーター

[3段階温度調節機能付]
(運転席、助手席)

運転席と助手席に3段階の温度調節ができるシートヒーターを採用しました。



昇温範囲

■ステアリングヒーター

上限温度に達した後は、温度を一定に保つよう制御されるステアリングヒーターを採用しました。



昇温範囲



デアイサー
ヒートドアミラー



リヤヒーターダクト

■ヒートポンプシステム・シーズヒーター

寒冷時の航続距離確保と快適な暖房空間を両立するため、省エネのヒートポンプシステムを採用しています。約-10℃以上ではヒートポンプシステムを、約-10℃以下ではシーズヒーター(ニクロム線に電気を流して発熱)を使用することで、効率的に室内を温められます。

予防安全

SUZUKI
Safety Support

スズキの予防安全技術

安心して、楽しくスズキのクルマに乗っていただきたいという想いから生まれた「スズキ セーフティ サポート」。
事故を未然に防ぎ、お客様の万一のときの安全を確保するために、運転をサポートする様々な技術で、
ヒヤリとする場面も限りなくゼロに近づけていきます。

街中を走るとき



衝突被害軽減ブレーキ

デュアルセンサーブレーキサポートII

歩行者や自転車も検知し、交差点での出会い頭や右左折時の事故による被害を軽減



発進お知らせ機能

[先行車・信号切り替わり]

先行車の発進、信号の切り替わりまでお知らせすることで、スムーズな発進をサポート



標識認識機能

[車両進入禁止、はみ出し通行禁止、最高速度、一時停止、転回禁止、赤信号]

走行中に車両進入禁止などの標識を検知。ドライバーにお知らせすることで、うっかりミスを減らし、安全運転をサポート

駐車をするとき



誤発進抑制機能

EVシステムの出力を抑えて、ペダルやシフトの操作ミスによる衝突の回避に貢献



後方誤発進抑制機能



衝突被害軽減ブレーキ

低速時ブレーキサポート(前進・後退)

駐車時などで障害物を検知し、低速時の走行をサポート



車線維持支援機能

車線の中央付近を維持するようにステアリング操作を支援し、運転操作の負担を軽減



車線逸脱警報機能

メーター内の表示および、ブザー音またはハンドルの振動などで「車線からはみだし」を警報



ふらつき警報機能

眠気などでクルマが蛇行すると、ブザー音とメーター表示で「ふらつき」運転を警報

高速道路を走るとき



車線逸脱抑制機能

車線を逸脱しそうな場合に、車線内側に戻すようにステアリングを操作し、車線の逸脱を低減



ブラインドスポットモニター

[車線変更サポート付]

ドアミラーでは確認しにくい斜め後方から接近するクルマを検知し、車線変更時の安全運転をサポート



アダプティブクルーズコントロール

[全車速追従機能・停止保持機能付]

設定した速度での走行や、先行車との適切な車間距離を保ちながら追従することで、運転操作の負担を軽減



ドライバーモニタリングシステム

カメラがドライバーの顔を認識し眠気や脇見などを検知し、危険と判断した場合はブザー音とメーター表示で警報

その他の予防安全機能

■アクティブコーナリングサポート

加速時のコーナリングにおいて、アンダーステア(カーブの外側に車両が膨らむ現象)を抑制します。

■エマージェンシーストップシグナル

■ESP®[車両走行安定補助システム]

■ヒルホールドコントロール

*ESPはMercedes-Benz Group AGの登録商標です。 *ESP=Electronic Stability Program
*制御性能には限界があります。機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

衝突安全(一例)

■二次衝突軽減ブレーキ

エアバッグセンサーが前方及び側方の車両の衝突を検知した場合、自動でブレーキをかけることで二次被害を軽減します。これにより予期せぬ事故でドライバーがブレーキを操作できない状況になった場合でも、他車両への衝突などの二次被害を軽減できます。

■二次衝突軽減ブレーキは二次衝突による被害を軽減することを目的としていますが、その効果はさまざまな条件により異なります。また、事故の状態、構成部品の損傷状態、天候状況、道路状況などの条件によっては二次衝突軽減ブレーキが正常に作動しないことがあります。機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

■運転席・助手席SRSエアバッグ、フロントシートSRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグに加えて、
運転席SRSニーエアバッグを標準装備

*エアバッグ膨張時イメージ

運転席SRSニーエアバッグ

運転席の膝の前にあるエアバッグで、前方向からの衝突によりエアバッグが膨らみ、ドライバーの衝撃緩和を補助します。



*運転席ニーエアバッグ膨張時イメージ

●SRSエアバッグシステムは、シートベルトを補助する装置ですので、必ずシートベルトをご着用ください。
●SRSエアバッグシステムは、衝突の条件によっては作動しない場合があります。また、ご注意ください項目がありますので、必ず取扱説明書をよくお読みください。フロントシートSRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグは、実際の衝突時には衝突側のみ膨らみます。
SRS=Supplemental Restraint System(補助拘束装置)

e VITARA ACCESSORIES



ETC2.0車載器



ドライブレコーダー
(前方・後方録画用)



カータープ
「ogawa」×「SUZUKI」

ルーフラックアタッチメント〈アルミ〉
ベースキャリア